



### みどりの感謝祭に出展しました!

5月13日～14日の2日間にわたり、第27回森と花の祭典「みどりの感謝祭 みどりとふれあうフェスティバル」(主催:農林水産省・林野庁ほか)が日比谷公園(東京都千代田区)で開催されました。

「みどりの感謝祭」は、多くの人たちに緑について理解と関心を深めてもらうための「みどりの月間」(4月15日～5月14日)の締めくくりイベントとして毎年開催されており、森林、林業、木材産業に関係する企業、団体、NPO等が数多く出展しています。1日目はあいにく雨模様で、肌寒い天気となりましたが、2日目は天候もなんとか回復し、2日間で約1万7千人(主催者調べ)が訪れました。

森林保険センターの出展ブースでは、形や大きさの異なる様々な樹木の葉を使った葉書づくりのワークショップや、火災、水害などの森林災害を標的とした職員手作りの輪投げコーナーを設けました。



輪投げを楽しむ家族連れ

葉書づくりでは、母の日と重なったことから、子どもたちの中には、母親へのメッセージを書き込むなど、思い思いに製作の過程を楽しみながら、休日のひとときを過ごしていただきました。



樹木の葉を使った葉書づくり

また、ブースを訪れた方々からは、「森林保険というのは何ですか?」と、率直なご質問もいただき、職員がわかりやすく説明をするなど、森林保険のPRに努めました。

### 森林保険初任者講習会について

平成29年度森林保険初任者講習会を、5月15日～17日の3日間にわたり神奈川県川崎市で開催しました。

初任者講習会は、新たに森林保険業務を担当する方を対象に、森林保険の概要と課題、事務処理の実務(引受、契約管理、損害てん補)、業務システムの操作方法



講習会の様子

実務(実習)、加入促進対策等の実務を習得していただくことを目的に毎年実施しており、今年度は、各県の森林組合連合会から17名(男性10名、女性7名)の参加をいただきました。

いずれの講習内容も、森林保険業務を行う上で重要な内容となっており、限られた時間の中ではありましたが、受講者の皆さんは熱心に講習に取り組まれ、業務への理解を深められた3日間となりました。

今年度は森林国営保険から引き継いで3年目であり、森林経営のセーフティネットとして、森林所有者の皆様に、森林保険を役立てていただくためには、森林保険の内容と手続きに精通した職員の養成とスキルの向上が不可欠です。



講習会の様子

受講生の皆さんには、講習で得た基本的な知見を、今後は実際の業務を進める中で活かしながら、円滑な事務手続、森林保険の加入促進の取組等に活かしていただきたいと思います。

## 森林保険Q&A



保険証書をなくしてしまった場合はどうすればよいですか。

保険証書を亡失、あるいは、汚損した場合は、証書の再交付が可能です。再交付請求書に必要事項を記入・押印し、保険証書(汚損した場合のみ)を添えて、森林組合、森林組合連合会の窓口に出してください。その後、森林保険センターで申請内容を確認し、承諾後に再交付となります。

発行元: 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター  
(HPアドレス: <https://www.ffpri.affrc.go.jp/fic/>)